

2020年1月23日 全7頁

Indicators Update

2019年12月貿易統計

輸出数量は2ヶ月ぶりに増加、米国・EU向けが反発

経済調査部
エコノミスト 鈴木 雄一郎
シニアエコノミスト 小林 俊介

[要約]

- 2019年12月の貿易統計によると、輸出金額は前年比▲6.3%と13ヶ月連続で減少し、コンセンサス(同▲4.2%)を下回った。輸出金額は数量の減少を主因として、18年半ばから減少基調が続いているが、前年比のマイナス幅は2ヶ月連続で縮小した。
- 12月の輸出数量(大和総研による季節調整値)は前月比+4.0%と2ヶ月ぶりに増加した。地域別に見ると、米国向け(同+1.9%)、EU向け(同+6.2%)、アジア向け(同+2.1%)のいずれも増加した。米国向けは6ヶ月ぶり、EU向けは5ヶ月ぶりの増加である。
- 先行きの輸出数量は、地域ごとに濃淡はあるものの、総じてみると世界経済減速の影響が見られるなか、足踏みが続くとみている。アジア向け輸出は半導体需要の回復を背景に緩やかな増加基調を維持する一方、米国、EU向けは横ばい圏での推移が続くだろう。

図表1：貿易統計の概況

		2019年									
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
原系列 前年比 %	輸出金額	▲2.4	▲7.8	▲6.6	▲1.5	▲8.2	▲5.2	▲9.2	▲7.9	▲6.3	
	コンセンサス									▲4.2	
	DIRエコノミスト予想									▲3.3	
	輸入金額	6.5	▲1.4	▲5.2	▲1.1	▲11.9	▲1.5	▲14.7	▲15.7	▲4.9	
	輸出数量	▲4.3	▲8.9	▲5.5	1.6	▲6.0	▲2.3	▲4.4	▲5.0	▲1.9	
	価格	2.0	1.2	▲1.2	▲3.1	▲2.4	▲2.9	▲5.0	▲3.1	▲4.6	
季節 調整値 前月比 %	輸入数量	4.1	▲1.2	▲3.2	6.7	▲6.1	6.8	▲6.1	▲8.1	1.2	
	価格	2.3	▲0.2	▲2.0	▲7.3	▲6.2	▲7.7	▲9.2	▲8.2	▲6.0	
	貿易収支(億円)	535	▲9,702	5,875	▲2,523	▲1,457	▲1,283	128	▲852	▲1,525	
	輸出金額	▲0.1	▲4.9	4.8	▲0.3	▲2.8	1.3	▲1.9	▲0.1	0.5	
	数量	2.6	▲7.7	5.8	1.5	▲4.5	▲0.5	1.8	▲2.9	4.0	
	価格	▲2.7	3.0	▲0.9	▲1.8	1.7	1.8	▲3.6	2.9	▲3.4	
季節 調整値 前月比 %	輸入金額	▲0.4	0.1	▲2.8	1.8	▲3.3	0.8	▲1.8	0.1	0.6	
	数量	1.9	3.1	▲6.9	7.8	▲5.3	2.1	▲2.0	▲3.7	3.5	
	価格	▲2.3	▲2.9	4.4	▲5.5	2.1	▲1.3	0.2	3.9	▲2.8	
	貿易収支(億円)	▲1,643	▲4,902	8	▲1,398	▲1,053	▲747	▲765	▲919	▲1,025	
税関長公示レート		111.18	111.07	109.05	108.00	107.21	106.69	107.77	108.76	108.95	

(注1) 税関長公示レートは円/ドルレート。コンセンサスはBloomberg。

(注2) 数量と価格の季節調整値は大和総研による。

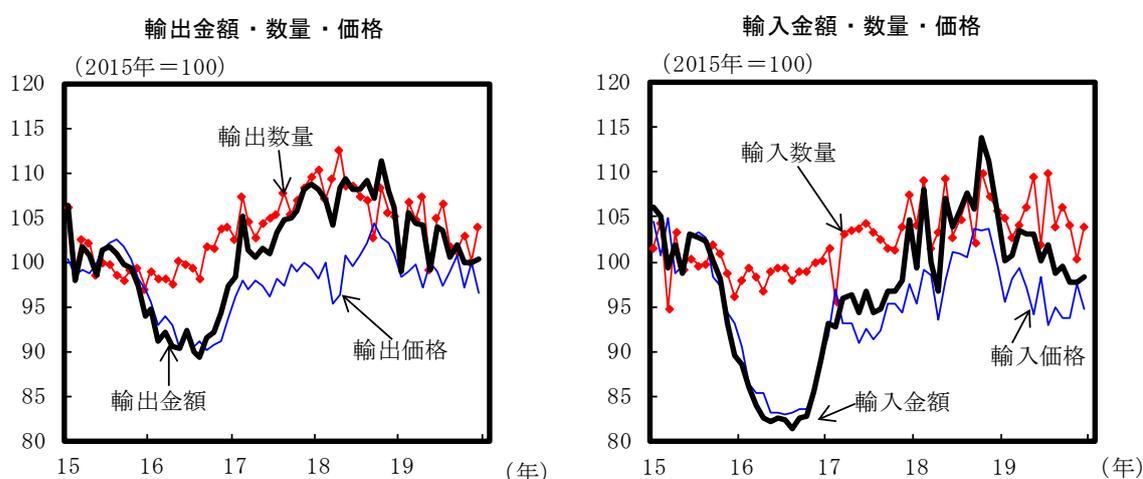
(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

【輸出金額】 コンセンサスを下回るも、マイナス幅は2ヶ月連続で縮小

2019年12月の貿易統計によると、輸出金額は前年比▲6.3%と13ヶ月連続で減少しコンセンサス（同▲4.2%）を下回った。輸出金額は数量の減少を主因として、2018年半ばから減少基調が続いているが、前年比のマイナス幅は2ヶ月連続で縮小した。

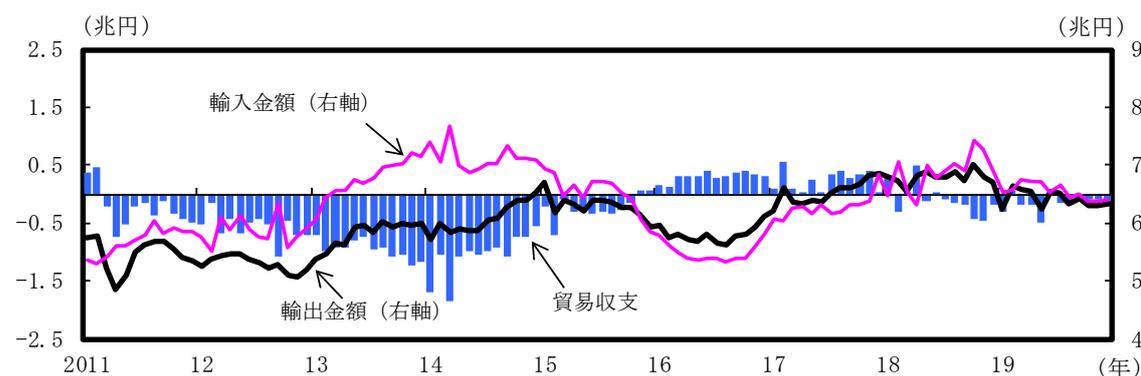
2019年で見れば、輸出金額は前年比▲5.6%と3年ぶりの減少となった。米中摩擦の影響もあり、景気の減速が鮮明となった中国や、7月以降急速に政治関係が悪化した韓国を含むアジア向け輸出が同▲7.6%と落ち込み全体を押し下げた。また、米国向け（同▲1.4%）、EU向け（同▲2.8%）もそれぞれ3年ぶりに減少に転じた。

図表2：輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格（季節調整値）



(注) 輸出数量、輸入数量、輸出価格、輸入価格の季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

図表3：輸出金額、輸入金額、貿易収支（季節調整値）



(出所) 財務省統計より大和総研作成

【輸出数量】2ヶ月ぶりに増加、米国・EU向けが反発

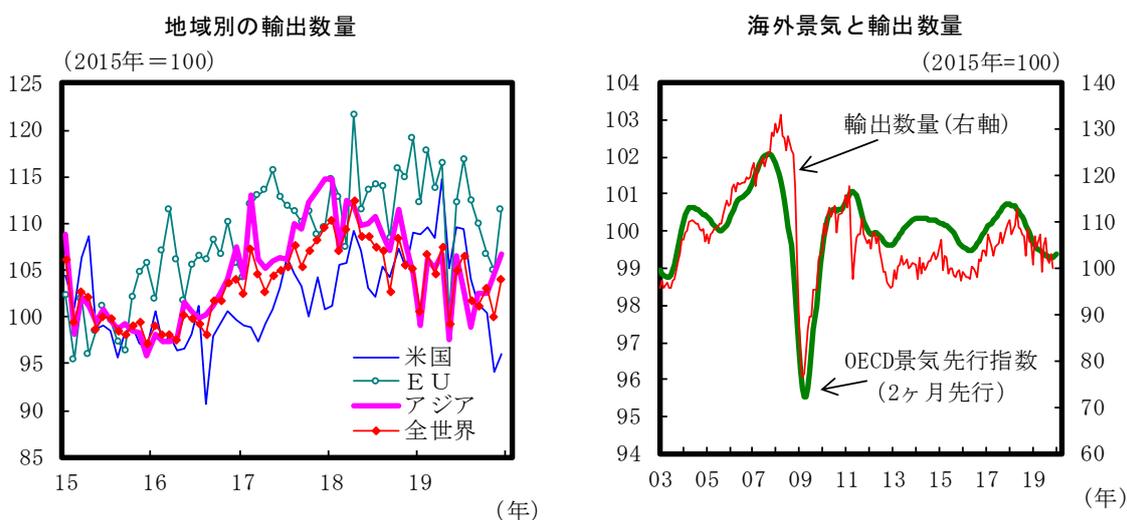
12月の輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比+4.0%と2ヶ月ぶりに増加した。地域別に見ると、米国向け（同+1.9%）、EU向け（同+6.2%）、アジア向け（同+2.1%）のいずれも増加した。米国向けは6ヶ月ぶり、EU向けは5ヶ月ぶりの増加である。また、アジア向けは2018年10月以降軟調な推移が続いていたが、2019年8月から下げ止まり、増加傾向に転じている。

米国向け輸出は2019年7月以降急速に減少していたが、12月はいったん下げ止まった。単月の動きを概況品別に見ると、電気機器や一般機械などが全体を押し上げた。乗用車に関しては、2019年4月をピークに減少基調が続いてきたが、10月以降は下げ止まり、横ばい圏での推移に転じている。

EU向けでは、11月に大幅に増加した電算機類が高水準を維持したことに加え、原動機などが増加に寄与した。単月ではV字回復となったものの、2018年11月以降、全体を下支えしてきた乗用車などは足下で伸び悩んでいる。

アジア向けは、半導体等製造装置が大幅に増加した。また、原動機、半導体等電子部品やICを含む電気機器なども増加に寄与した。半導体等電子部品の輸出は2018年初年から軟調な推移が続いていたが、足下では緩やかな回復に転じている。回復の要因としては、2020年に5G（第5世代移動通信システム）を利用した各種製品の実装・販売が見込まれていることに加え、過去2年間近く続いた生産調整を経て、グローバルな在庫水準が既に低下していることが挙げられるだろう。

図表4：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



(注1) OECD景気先行指数 (CLI) はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

【輸入金額】 輸入数量は3ヶ月ぶりに増加

輸入金額は前年比▲4.9%と8ヶ月連続で前年割れとなった。季節調整値で見ると、前月比+0.6%と2ヶ月連続で僅かに増加した。他方、輸入数量（大和総研による季節調整値）は前月比+3.5%と3ヶ月ぶりに増加に転じた。消費増税直後の2019年10月以降、駆け込み需要の反動減もあって、輸入数量は減少基調が続いていたが、この動きが一服した可能性がある。

なお、2019年10-12月期のGDPにおける外需は、輸入が落ち込んだことで3四半期ぶりのプラス寄与となる可能性が高い。

【見通し】 輸出数量は低水準の推移が続く

先行きの輸出数量は、地域ごとに濃淡はあるものの、総じてみると世界経済減速の影響が見られるなか、足踏みが続くともみている。

地域別に見ると、アジア向けは緩やかな増加基調を維持するとみている。足下では世界の半導体販売額が底入れしており、それに伴いアジア向けの半導体等電子部品輸出も増加傾向にある。アジア向けの輸出は相対的に半導体等電子部品のウェイトが大きく、今後も輸出を押し上げる要因となろう。

EU向けについては、足踏みが続くだろう。他方、ドイツや英国は2018年半ばごろから景気減速が鮮明となっている。内需の減速を受け、弱い動きが続くとみられる。しかしながら、英国の「合意なし」のEU離脱が回避されたことや、米中通商協議が一次合意に達したことを受け、ドイツのZEW指数などのマインド指標は改善している¹。今後、消費や生産活動が持ち直してくれば、EU向けの輸出も回復してくるだろう。

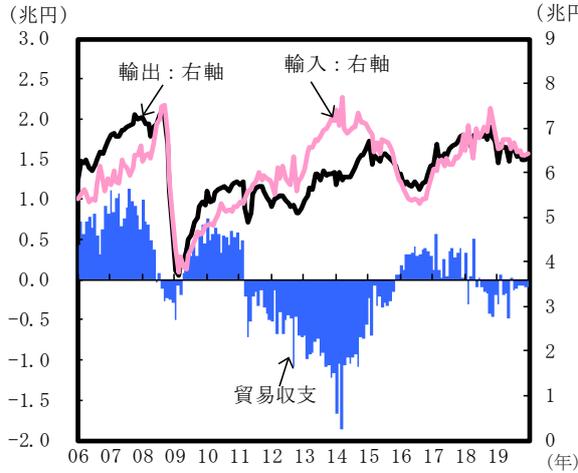
米国向けは横ばい圏で推移するだろう。足下では、自動車の輸出に弱さが見られるものの、堅調な雇用環境や消費マインドなどを背景に、個人消費は底堅くに推移すると見込んでいる²。米中摩擦に関しては、一次合意に達したことを受け、2018年から始まった貿易摩擦の激化はいったん落ち着いた。これまで、貿易摩擦に対する懸念の高まりから設備投資を先送りする動きが見られていたが、企業マインドの改善が継続し、設備投資の再開機運が高まれば、米国向けの資本財の輸出も期待される。

¹ 詳細は山崎加津子「[欧州経済見通し Brexit 後への期待と不安](#)」（2020年1月23日、大和総研レポート）を参照。

² 詳細は矢作大祐「[米国経済見通し 大統領選に向けて一直線](#)」（2020年1月22日、大和総研レポート）を参照。

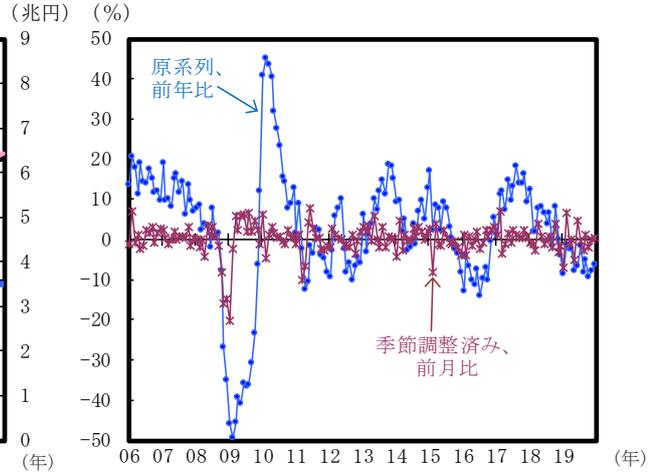
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

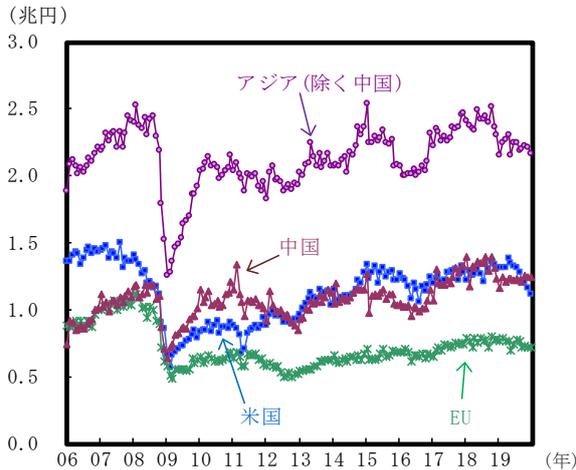


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

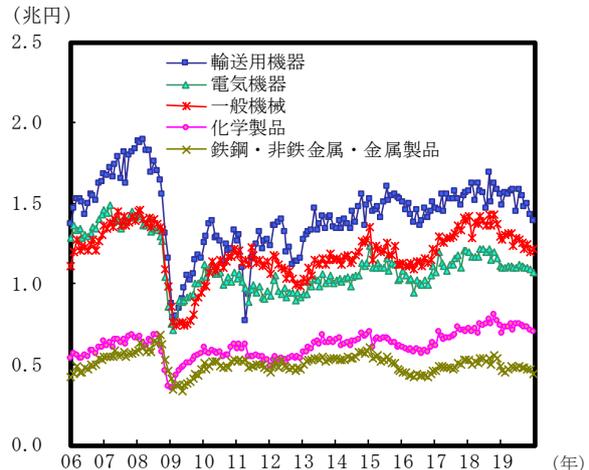


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)



(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

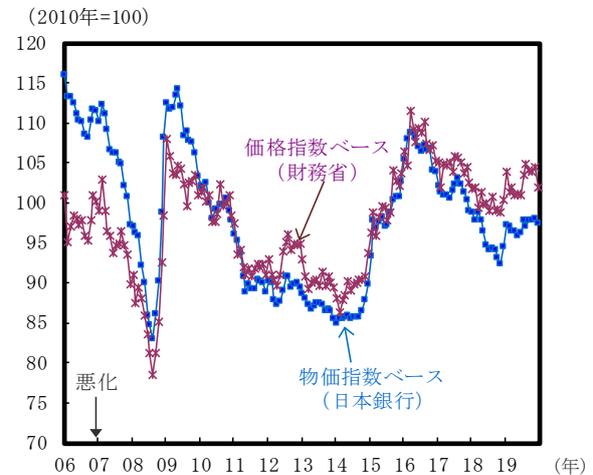


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2019/07	2019/08	2019/09	2019/10	2019/11	2019/12		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲1.5	▲8.2	▲5.2	▲9.2	▲7.9	▲6.3	100.0	▲6.3
食料品	4.9	▲3.5	▲5.3	▲5.1	1.2	1.9	1.2	0.0
原料品	▲13.5	▲12.2	▲11.0	▲16.6	▲15.6	▲17.2	1.4	▲0.3
鉱物性燃料	0.2	▲6.2	▲16.9	14.1	10.1	▲8.8	1.7	▲0.2
化学製品	▲0.1	▲5.1	▲2.1	▲9.7	▲7.4	▲4.8	11.5	▲0.5
原料別製品	▲5.1	▲11.0	▲3.8	▲13.3	▲11.1	▲9.1	10.8	▲1.0
鉄鋼	▲4.1	▲13.6	▲0.4	▲16.7	▲18.2	▲13.3	3.7	▲0.5
非鉄金属	▲10.7	▲10.0	▲2.7	▲10.7	▲0.3	1.4	1.8	0.0
金属製品	▲6.4	▲8.5	▲9.0	▲13.7	▲7.9	▲10.1	1.6	▲0.2
一般機械	▲7.2	▲12.3	▲11.2	▲12.9	▲12.0	▲6.2	20.2	▲1.3
電気機器	▲7.3	▲8.1	▲4.7	▲8.3	▲5.3	▲3.2	17.9	▲0.6
半導体等電子部品	▲7.8	▲2.7	4.0	0.6	▲0.3	2.6	5.4	0.1
I C	▲7.1	▲0.5	9.1	3.6	▲1.3	3.9	3.8	0.1
映像機器	▲5.6	▲5.3	▲11.9	▲9.8	▲13.0			
映像記録・再生機器	▲12.1	▲8.2	▲14.8	▲8.8	▲12.6	▲14.8	0.4	▲0.1
音響・映像機器の部分品	▲12.7	▲10.5	▲15.1	▲19.3	▲13.8	▲3.1	0.3	▲0.0
電気回路等の機器	▲9.0	▲14.5	▲12.7	▲13.6	▲11.7	▲5.2	2.5	▲0.1
輸送用機器	7.7	▲8.2	▲2.7	▲7.4	▲9.7	▲10.7	22.0	▲2.5
自動車	9.2	▲7.2	▲1.9	▲9.6	▲7.0	▲11.8	14.9	▲1.9
自動車の部分品	▲10.7	▲13.6	▲14.7	▲11.3	▲8.8	▲10.9	4.8	▲0.5
その他	2.0	▲2.0	▲2.3	▲6.3	▲1.5	▲0.8	13.4	▲0.1
科学光学機器	▲8.0	▲7.4	▲10.9	▲10.9	▲4.1	2.1	3.1	0.1

米国向け輸出金額 内訳								
	2019/07	2019/08	2019/09	2019/10	2019/11	2019/12		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	8.4	▲4.4	▲7.9	▲11.4	▲12.9	▲14.9	100.0	▲14.9
食料品	11.8	▲5.3	0.9	4.9	▲4.7	▲4.7	0.7	▲0.0
原料品	16.1	▲22.7	28.4	▲8.8	34.2	0.4	0.5	0.0
鉱物性燃料	40.2	9.6	157.2	1397.4	▲21.1	▲12.0	0.8	▲0.1
化学製品	▲1.2	4.9	0.2	▲5.3	4.2	▲13.7	7.2	▲1.0
原料別製品	1.8	▲7.1	▲2.0	▲8.7	▲2.9	▲10.6	6.4	▲0.6
鉄鋼	12.3	▲2.9	13.3	▲19.7	▲23.1	▲25.1	1.0	▲0.3
非鉄金属	3.7	▲2.8	21.0	▲5.9	9.8	▲18.6	0.7	▲0.1
金属製品	▲5.5	▲7.9	▲11.8	▲3.9	13.1	10.1	1.8	0.1
一般機械	16.3	1.3	▲5.9	▲4.8	▲14.1	▲10.2	23.5	▲2.3
電気機器	▲1.2	▲8.8	▲7.7	▲15.9	▲10.1	▲12.6	13.5	▲1.7
半導体等電子部品	▲15.4	▲12.6	▲11.1	▲11.7	▲17.5	▲15.0	1.4	▲0.2
I C	▲14.2	▲15.1	▲16.5	▲10.9	▲18.3	▲16.9	0.7	▲0.1
映像機器	16.8	13.6	▲7.9	▲4.9	11.1			
映像記録・再生機器	7.7	7.5	▲11.6	▲9.7	10.0	▲4.9	0.7	▲0.0
音響・映像機器の部分品	▲15.3	55.1	▲7.5	▲26.1	▲16.5	▲30.5	0.2	▲0.1
電気回路等の機器	5.3	▲3.5	▲10.2	▲13.1	▲14.2	▲14.3	1.4	▲0.2
輸送用機器	2.6	▲11.7	▲14.8	▲17.1	▲16.9	▲20.0	37.1	▲7.9
自動車	1.5	▲13.0	▲15.7	▲17.7	▲17.1	▲21.4	28.7	▲6.6
自動車の部分品	1.1	▲11.9	▲16.2	▲12.9	▲18.9	▲20.4	5.5	▲1.2
その他	36.6	9.0	▲0.8	▲13.8	▲15.4	▲13.0	10.3	▲1.3
科学光学機器	6.1	18.3	2.7	▲10.7	▲10.2	▲14.1	2.3	▲0.3

EU向け輸出金額 内訳								
	2019/07	2019/08	2019/09	2019/10	2019/11	2019/12		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	2.2	▲1.3	▲0.5	▲8.4	▲7.9	▲8.1	100.0	▲8.1
食料品	6.3	8.9	23.9	▲13.6	▲11.3	4.3	0.4	0.0
原料品	▲11.0	0.2	▲14.2	▲7.3	▲9.1	▲2.8	1.0	▲0.0
鉱物性燃料	20.7	▲31.6	12.1	▲52.8	43.3	64.1	0.6	0.2
化学製品	▲10.4	▲3.8	5.8	0.2	▲5.6	▲7.5	9.2	▲0.7
原料別製品	▲15.7	▲5.2	▲6.0	▲14.6	▲12.9	▲9.6	6.4	▲0.6
鉄鋼	▲30.0	10.7	4.2	▲29.7	▲6.7	30.7	0.9	0.2
非鉄金属	▲31.9	▲13.6	▲9.5	▲10.9	▲18.8	▲4.4	0.7	▲0.0
金属製品	▲2.6	3.7	▲5.8	▲8.1	▲14.8	▲29.1	1.4	▲0.5
一般機械	▲7.9	▲12.4	▲15.1	▲20.3	▲19.8	▲16.8	22.7	▲4.2
電気機器	▲8.8	▲6.7	▲7.6	▲14.5	▲11.0	▲9.8	16.6	▲1.7
半導体等電子部品	▲14.5	▲14.7	▲11.4	▲14.0	▲7.7	▲7.3	1.8	▲0.1
I C	▲25.3	▲28.3	▲17.6	▲19.0	▲12.5	▲12.7	0.8	▲0.1
映像機器	▲15.0	▲10.6	▲10.3	▲12.0	▲33.0			
映像記録・再生機器	▲17.3	1.0	▲17.9	▲12.1	▲34.6	▲15.9	0.7	▲0.1
音響・映像機器の部分品	3.9	1.0	34.3	6.8	25.6	22.4	0.2	0.0
電気回路等の機器	▲15.4	▲14.5	▲15.7	▲26.4	▲19.7	▲11.3	1.5	▲0.2
輸送用機器	34.6	0.9	21.3	5.8	9.2	▲5.2	27.9	▲1.4
自動車	50.4	10.3	41.5	12.8	11.7	▲4.4	18.1	▲0.8
自動車の部分品	2.2	▲2.6	▲4.9	▲5.2	16.9	▲3.5	6.3	▲0.2
その他	▲0.5	23.5	▲2.0	▲5.0	▲13.5	2.7	15.2	0.4
科学光学機器	▲0.7	7.0	▲4.1	▲15.2	▲9.2	▲8.6	3.0	▲0.3

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2019/07	2019/08	2019/09	2019/10	2019/11	2019/12		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲8.3	▲10.9	▲7.8	▲11.2	▲5.7	▲3.6	100.0	▲3.6
食料品	3.2	▲3.2	▲8.4	▲6.1	1.9	3.2	1.6	0.0
原料品	▲17.4	▲12.4	▲15.0	▲19.3	▲20.7	▲20.1	1.9	▲0.5
鉱物性燃料	▲16.3	3.3	▲33.0	▲15.0	11.1	▲9.5	1.9	▲0.2
化学製品	1.0	▲7.3	▲4.1	▲12.0	▲8.9	▲2.7	15.3	▲0.4
原料別製品	▲9.1	▲13.9	▲7.4	▲15.1	▲13.5	▲10.1	13.0	▲1.4
鉄鋼	▲11.4	▲19.7	▲7.9	▲18.4	▲20.5	▲16.0	4.9	▲0.9
非鉄金属	▲10.4	▲12.0	▲7.3	▲13.6	▲5.5	0.0	2.6	0.0
金属製品	▲8.6	▲7.1	▲7.4	▲13.2	▲9.6	▲10.7	1.7	▲0.2
一般機械	▲13.8	▲16.8	▲12.9	▲13.0	▲7.0	▲0.0	20.3	▲0.0
電気機器	▲9.2	▲8.0	▲4.1	▲6.4	▲3.9	▲1.2	22.0	▲0.3
半導体等電子部品	▲6.8	▲1.6	5.9	1.7	1.0	4.4	8.6	0.3
I C	▲6.2	1.0	11.2	4.9	▲0.4	5.4	6.3	0.3
映像機器	▲23.8	▲25.6	▲22.2	▲12.3	▲23.1			
映像記録・再生機器	▲22.6	▲20.9	▲17.1	▲6.5	▲15.1	▲18.3	0.3	▲0.1
音響・映像機器の部分品	▲10.7	▲18.0	▲19.0	▲18.4	▲14.9	2.7	0.4	0.0
電気回路等の機器	▲11.9	▲16.2	▲13.1	▲13.1	▲10.1	▲4.3	3.4	▲0.1
輸送用機器	▲8.5	▲13.1	▲3.9	▲15.0	▲4.8	▲15.7	8.2	▲1.5
自動車	5.7	▲12.9	1.0	▲15.9	▲1.0	▲4.3	4.1	▲0.2
自動車の部分品	▲21.5	▲16.8	▲22.1	▲16.1	▲11.7	▲13.7	3.6	▲0.5
その他	▲6.2	▲8.6	▲8.5	▲7.8	3.1	4.0	15.8	0.6
科学光学機器	▲12.0	▲14.1	▲14.3	▲9.8	▲0.5	8.8	4.0	0.3

中国向け輸出金額 内訳								
	2019/07	2019/08	2019/09	2019/10	2019/11	2019/12		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲9.3	▲12.1	▲6.7	▲10.3	▲5.4	0.8	100.0	0.8
食料品	42.3	41.5	28.0	16.7	27.6	28.4	0.8	0.2
原料品	▲52.9	▲43.5	▲45.3	▲52.4	▲57.8	▲52.8	1.4	▲1.6
鉱物性燃料	20.4	4.4	▲46.7	10.2	▲49.4	▲44.5	0.9	▲0.7
化学製品	5.7	▲5.7	4.3	▲6.6	▲4.5	2.4	16.9	0.4
原料別製品	▲4.5	▲11.6	▲4.5	▲8.1	▲2.7	▲0.1	11.1	▲0.0
鉄鋼	▲4.0	▲15.6	▲9.9	▲17.6	▲13.3	▲1.4	3.3	▲0.0
非鉄金属	▲1.8	▲10.7	10.9	9.4	22.2	9.7	2.5	0.2
金属製品	▲4.0	▲7.5	▲3.5	▲6.2	▲0.6	▲3.3	1.8	▲0.1
一般機械	▲17.8	▲20.2	▲18.0	▲13.3	▲6.2	7.4	24.0	1.7
電気機器	▲14.1	▲10.1	▲2.3	▲9.6	▲6.5	▲3.4	20.5	▲0.7
半導体等電子部品	▲19.0	▲4.6	19.3	▲11.2	▲10.0	▲10.1	6.2	▲0.7
I C	▲23.7	▲2.6	27.9	▲13.6	▲17.2	▲17.1	4.3	▲0.9
映像機器	▲26.9	▲24.7	▲22.4	▲16.5	▲20.8			
映像記録・再生機器	▲25.9	▲13.7	▲14.2	▲4.2	▲5.8	▲6.0	0.5	▲0.0
音響・映像機器の部分品	▲7.2	▲6.7	2.6	▲10.6	▲5.9	14.5	0.7	0.1
電気回路等の機器	▲14.2	▲20.8	▲10.3	▲14.5	▲12.2	▲2.8	3.4	▲0.1
輸送用機器	▲4.8	▲15.3	▲10.7	▲14.4	5.4	9.7	10.4	0.9
自動車	31.4	▲0.1	16.4	▲7.4	34.4	36.3	5.6	1.5
自動車の部分品	▲35.0	▲27.9	▲31.6	▲21.1	▲16.4	▲11.5	4.6	▲0.6
その他	▲6.1	▲4.6	4.4	▲4.8	0.9	4.4	13.9	0.6
科学光学機器	▲8.7	▲17.9	▲10.6	▲12.6	▲0.4	14.9	5.9	0.8

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成